

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 12-005

PDCA	事務事業名	観光振興事業	部課等名	市民経済部 観光課 観光担当	担当	中村	
					内線等	324	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章：第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節：第1節 観光・産業の振興 基本施策：1. 観光 単位施策：(1) 観光資源の活用 個別施策：①観光資源の充実					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	半田市の観光資源である「山車・蔵・南吉・赤レンガ」を活用し、観光振興と地域経済の活性化を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・観光イベントへの支援、食の観光の推進、回遊性の向上 ・観光PR各種印刷物の作成、配布 ・蔵のまち見学者用駐車場の確保 ・はんだ市民盆踊り大会実行委員会への補助金交付、運営支援 ・県外における誘客プロモーションの実施 など					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①観光PR印刷物数(種類)	21	24	24	種	
		②駐車場用地の借受	1	1	1	か所	
		③観光イベント開催数	8	6	5	回	
		事業費	31,434	32,913	28,430	千円	
		人件費	18,751	16,812	16,115	千円	
		総事業費	50,185	49,725	44,545	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
		①観光客1人当たりに係るコスト	31	30	27	円	
		②					
	③						
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①年間観光入込客数	実績値	1,625	1,681	1,669	千人
			目標値	1,600	1,630	1,700	
		実績値					
		目標値					
		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ある			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※対象・手段の変更			
	事業の評価・課題	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 —			
		B					
		市内飲食店・土産店等をお得に回遊することができる「めぐりんチケット」を作成し、市内の観光施設を訪れた観光客を市内飲食店等に誘導し、回遊しながら消費していただく仕組みを新たに作った。また食の観光として新たに「尾州早すし」を始めとした市内寿司店の紹介冊子等を作成し、尾州早すしの認知度を向上させ、効果的にPRできた。 新型コロナウイルスの影響により、名鉄タイアップ「いいかも半田キャンペーン」等一部の誘客事業を延期・中止したため、年間の観光入込客数は目標値を達成できなかったが、令和2年2月までの数値は前年度を上回っており、3月において観光施設等が開館していれば目標値を達成できていたものと推測する。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	新型コロナウイルス感染症の影響により、当面は一局集中的な集客イベントは開催できないが、感染症の収束状況を見極めながら、寿司をPRする食の観光や市内飲食店を巡ってもらう取り組みを順次進めていく。また、国や県の支援制度の動向を注視しながら、反転攻勢に向けた取り組みを準備していく。 新たな取り組みとしては、ストップモーションアニメ「ごん」の全国展開と連携した半田市観光のPRを実施し、新たな誘客需要の掘り起こしを図っていく。					
	令和2年度の目標	成果指標	目標値		単位		
		①年間観光客数(新型コロナウイルスの影響がない場合)	1,730		千人		